

大学名 大阪教育大学

第64号 特集テーマ「地域の中核となる大学」

表題

3つのこども園の園歌を市と大学が協働で制作
～柏原市との地域連携プラットフォームの活用～

特色ある取組

大阪教育大学は、地元柏原市と構築する地域連携プラットフォーム(*)を通じ、3つの認定こども園の園歌を協働で制作した。

園歌の制作にあたっては、まず、市が園児及び保護者に歌詞に入れてほしいワードを募集し、めざす子ども像を踏まえて、各園の教員が歌詞を制作。その後、大学教員と音楽を専攻する学生2名が、歌詞をもとに、子どもが楽しく歌えるようにイメージしながら、歌の中で遊べる部分を作るなど、「未永く元気にのびのび歌える」ことを意識して作曲した。この協働による園歌の制作の完成については、市の広報誌にも掲載され、完成した園歌は4月の入園式で子どもたちによって披露された。



▲ 完成した園歌を披露する子どもたち

(*)地域連携プラットフォーム

同市との包括連携に関する協定を平成21年に締結し、毎年8月に地域連携協議会を開催している。令和2年に開催した協議会で、まちづくりへの新たな担い手を求める市と高度な専門性を持つ大学が、密接な連携を行うことを通してあらゆる地域社会課題への対応を検討することを目的に、地域連携プラットフォームを発足し、さらなる連携を図っている。



▲ 地域連携プラットフォーム概念図

期待できる成果・評価など

市の産業振興・こども・教育・健康・福祉など幅広い分野と大学の高度な専門性と豊富な人材を、プラットフォームを有効に機能させることで、お互いが抱える課題を認識・共有し、課題解決に向けたより迅速な行動が可能となる。今後さらなる地域活性と、大学の教育・研究の発展につながる事が期待できる。

参考URL

●こども園の園歌

https://osaka-kyoiku.ac.jp/liaison/society/kindergarten_composition.html

●トピックス「本学と柏原市との地域連携協議会を開催」

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/university/kouhou/topics/archives.html?itemid=6882&dispmid=2951>